

平成28年度 「大阪市中学校3年生統一テスト」における 大桐中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市中学校3年生統一テスト」について、平成28年10月6日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- （１）テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成29年度大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- （２）学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校の第3学年
- ・ 大桐中学校では、第3学年165名

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成28年度「大阪市中中学校3年生統一テスト」検証シート

実施日 平成28年10月6日(木)

学校名	大阪市立大桐中学校
-----	-----------

生徒数(人)	165
--------	-----

平均正答率(点)

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	62.7	53.6	48.5	52.8	58.1
大阪市	65.4	54.4	56.0	55.0	61.2

結果の概要

全教科において、市平均を下回ったが、社会は-0.8ポイントであり、ほぼ市平均レベルであった。しかし、数学は-7.5ポイントと、市平均を大きく下回った。その他の3教科については、市平均と比較し-2.2~-3.1ポイントであった。

数学においては、二極化した結果となり、中間層の少なさが平均点を大きく下回った理由と思われる。また、すべての教科で、高得点の生徒の割合が少ない傾向が見られる。

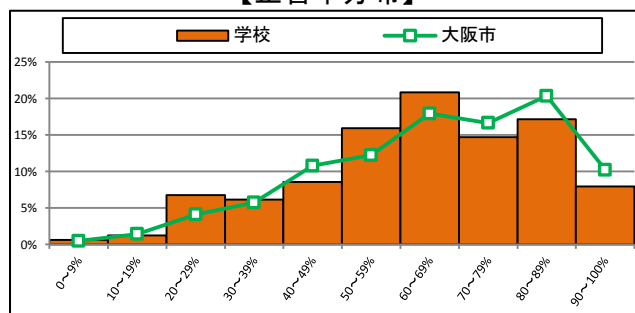
成果と今後取り組むべき課題

本校では市平均レベルを目標に、基礎基本の定着に取り組んできた。授業では落ち着いた環境の中で、協同学習やアクティブラーニングを取り入れ、関心意欲が高まった。また、学力の定着のため自宅学習ノートを作成し、自宅学習の啓発に努めている。経年比較すると、若干の成果が現れているが、目標には達していない。今後は、アクティブラーニングを取り入れた学習スタイルをさらに推進するとともに、内容の精選、自学自習の定着を進め、中間層の学力の向上に努めたい。

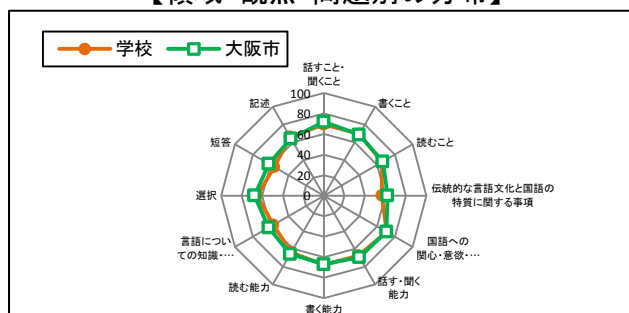
【各教科の正答率分布と領域・観点・問題形式別平均正答率の分布】

【国語】

【正答率分布】

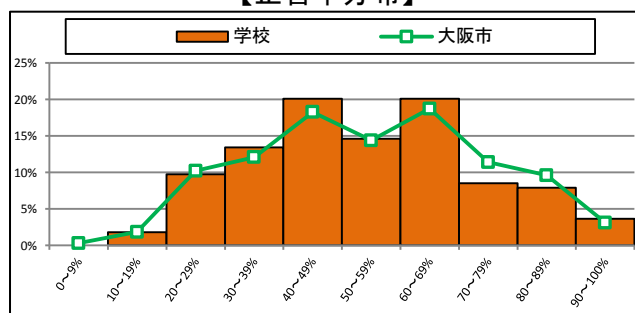


【領域・観点・問題別の分布】



【社会】

【正答率分布】

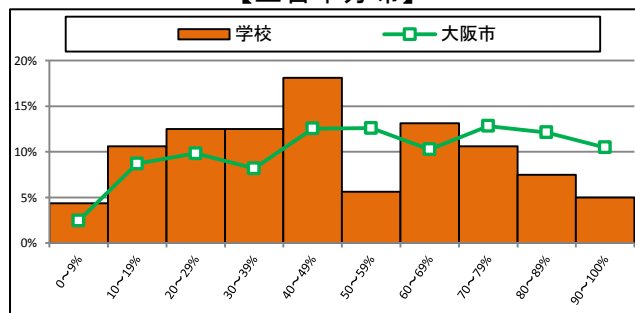


【領域・観点・問題別の分布】

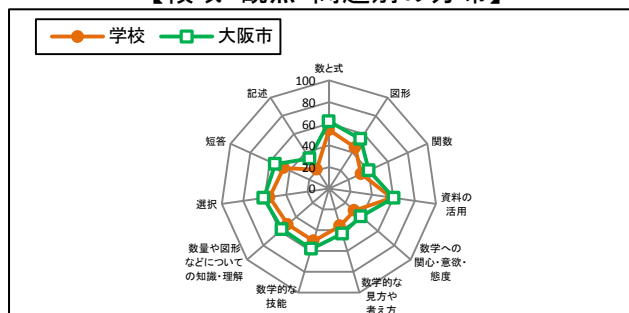


【数学】

【正答率分布】

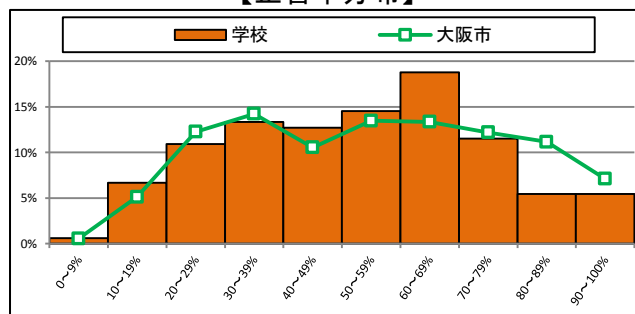


【領域・観点・問題別の分布】

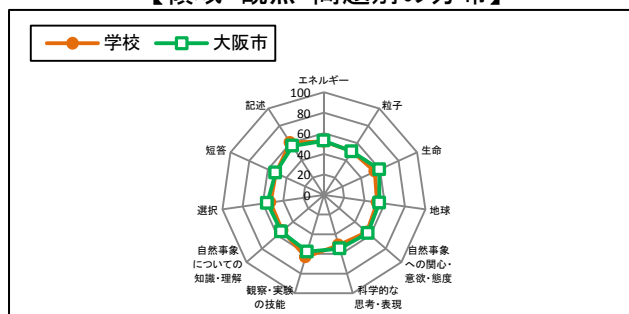


【理科】

【正答率分布】

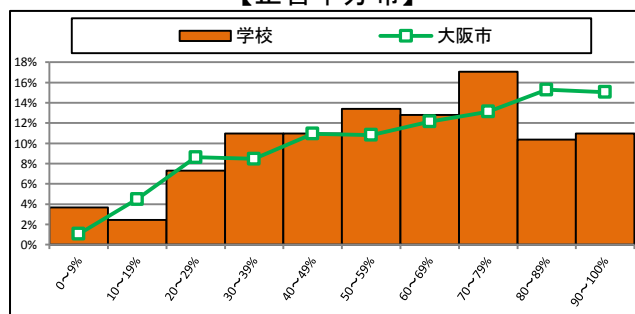


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【正答率分布】



【領域・観点・問題別の分布】

